

令和2年6月19日

令和元年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学
東京歯科衛生専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和元年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価

学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 教頭)
- ② 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)
- ③ 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ④ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ⑤ 三宅 みちる (32回卒業生)
- ⑥ 米村 美奈子 (保護者)

学内委員

- ① 佐々木 ひろみ (学校長)
- ② 前田 美佳 (事務長)
- ③ 福間 偉津子 (教務主任)
- ④ 齊藤 和臣 (広報部長)
- ⑤ 儀我 有子 (教務主任補佐)

2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第1回）
開催日時	2020年6月19日（金）14：45～15：10（25分）
場所	本校 203 教室
出席者 （敬称略）	1. 学校 佐々木 ひろみ（学校長）、前田 美佳（事務長）、福間 偉津子（教務主任）、齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）（参加者合計5名）
欠席者 （敬称略）	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校教頭）富田 基子（東京都歯科衛生士会顧問）、功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長）、櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長）、三宅 みちる（32回卒業生）、米村 美奈子（保護者）儀我 有子（教務主任補佐） ※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、事前に書面にて意見を集約
議題等	1. 校長挨拶 佐々木校長より学校評価委員会の趣旨説明、外部委員の意見集約についての説明が行われた。 2. 資料確認 配布資料についての概要説明が行われた。 3. 意見交換 説明についての質疑応答が行われ、今後の改善やアドバイスについて議論された。 詳細は、別紙のとおり。 7. 閉会 最後に校長より総括が述べられた後、閉会した。

以上

令和元年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

<適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	【成果と課題】 ・学校の理念・目的・育成人材像をもとに職業教育が行われていると感じる。 ・入学時、進級時のオリエンテーションをはじめ、教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識している ・各学年の歯科衛生士概論の授業の中に、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する歯科衛生士の講話を設定したり、就業先ごとの最新な情報を伝えるように工夫して行っている。 しかし、レベルが下がってきている学生達にどこまで伝わっているのか不安は残るのでひとつひとつ丁寧な対応を続けていくことが大切である。	・教育目標は分かりやすく、慎重深く、また「判断力・創造力・行動力」は医療従事者として大切なことが掲げられている。 ・卒業生を見ていると理念通りの教育がなされていることが伺える。 ・教育理念の周知は積極的に行っていると思うが、意識して学習している学生は少ないと感じるので、卒業生の講話を通じて目標をイメージして欲しい。また、出産、育児等で休職し復職した歯科衛生士の講話も良いと思う。
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4		
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4		
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	3		
			【今後の改善方策】 ・周知はされているが、学生の理解度を考えると、目標の教室掲示を行ったらより効果的であると考ええる。 ・今後、卒業生の講話をさらに増やしていくことで、在校生に具体的な将来像をイメージしてもらおう。	

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、高等教育無償化の申請に伴いシラバスの情報をHPに公開した。 ・業務効率化を図るシステムについての改善がなされた。(スクールエイドのカスタマイズにより、成績処理がスムーズになった。) ・人事、給与に関する規定類の設定が未完であるが、それ以外は適切に運営できている。規定についても完成版が提示される予定である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログ部分の改善 ・業務効率化を図るシステム化について増員も含め今後検討していく必要がある。 ・学生掲示板の電子化等、合理的でわかりやすい掲示方法の検討が必要である。(昨年に引き続き) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の掛かる作業かと思うが各種情報のデジタル化が進むことで評価の低い項目の見直しがなされると思う。 ・歯科衛生士学校の充足率が大変厳しい中、大変な努力と積極的な活動が伺われる。事業計画にもあるようにTDHのブランディングが大切と思う。 ・学生も大切だが、働くスタッフのモチベーションも大切かと思うので、検討・改善を進めることも必要かと思う。
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4		
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	2		
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	3		
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4		
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4		
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	3		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	3		

(3) 教育活動	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力や学習意欲に問題のない学生に対しては良いカリキュラムと学習環境を提供しており優秀なDHを育てている。 ・入学を許可した学生に対して責任をもって向き合い教育をしていく意識を常に持っていく必要がある。 ・近年学習習慣の低い学生が増えていく中で、どうモチベーションをあげさせて学ばせるかが今後の課題である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力不足、心理的な面など問題を抱えている学生に対する支援や指導方法の研修が必要である。 ・教職員が同じ方向を向いて教育活動を行うためのFD活動を取り入れていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い教育を行っていると思います。自己評価の3の項目が強化されるとさらに良いかと思われる。 ・限られた予算の中で教員確保や教員研修を進めていかなければならない。自己評価の中でも触れられていたFD活動の時期や分量で対応していくと良いと思う。
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	3		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3		

(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか	4	<p>【成果と課題】 ・3年次の歯科衛生士概論の中で、「卒後のキャリアアップ」として3名の卒業生に講話をしてもらっている。</p> <p>・今年度から開設した寺子屋により国家試験対策を充実させることができた。</p> <p>・大学の傘下に入ったことにより、講師を招いての国試解説を実施することができた。</p> <p>・スクールカウンセラーの職域を拡充してもらい、より多くの教育現場で退学防止に協力していただけた。</p> <p>・同窓会との連携をもう少し密にする。</p> <p>【今後の改善方策】 ・国家試験全員合格に向け、寺子屋を含めた対策をさらに充実させていく。</p> <p>・同窓会との連携強化のため、何ができるか(必要か)を分掌担当者と管理職で審議していく。</p>	<p>・学校評価・運営に最も大きな影響を与える部分、素晴らしい施設で有効活動と系列大学との連携もあり、今後に期待できると考えられる。</p> <p>・同窓会の立場としては、もっと在校生と交流を深めるチャンスはあると考えているので、協力をしていきたいと思う。</p> <p>・寺子屋の活動により、勉強の仕方へのサポートが更に強化され、スクールカウンセラーの存在と共に、学生にとって有意義である。</p>
	② 資格取得率の向上が図られているか	4		
	③ 退学率の低減が図られているか	4		
	④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3		
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3		

(5) 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	<p>【成果と課題】 ・就学支援制度が新たに追加され(対象校となる)学生に対する経済的な支援体制が強化された。</p> <p>・特に就職課があるわけではないので支援体制に対しては、稀薄である。</p> <p>・29年度より導入したスクールカウンセラーの配置は、精神面における多様な学生への不安面での解消はもとより、教員への「特に配慮の必要な学生支援」のサポート・アドバイスにも着手してもらっている。</p> <p>・教員会議を通じて学生の状況把握に努め、共有し学生支援に活かしている。</p> <p>・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。</p> <p>・卒業生には、再就職支援、図書の貸し出し等の支援を実施している。</p> <p>【今後の改善方策】 ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年に引き続き)ができるかの検討課題とする。</p> <p>・卒業生の教員を増やし同窓会との連携を密にして、卒業生のキャリアアップ等の支援体制を強化する。</p>	<p>・就職課がないので支援体制は稀薄とあるが、先生方は親身に丁寧な学生支援をしていると思う。</p> <p>・卒業生の教員を増やし同窓会との連携を密にし、同窓会活動での相互交流、復職支援活動、臨床が苦手な学生への就職支援が必要かと思う。</p> <p>・カウンセラー体制の重要性は今後ますます大きくなると考える。</p>
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4		
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4		
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4		
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4		
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	3		
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3		
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3		

(6) 教育環境	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	【成果と課題】 ・屋上ドアの交換、ウッドデッキの補修など学生の防火・安全に配慮する工事を実施した。	・校内の整備は毎年計画的に行われているので安心であり、素晴らしい環境は強みとして、今後さらに強調されると良いと思う。 ・臨床現場の拡充要望では、要介護マネキン、口腔内スキャナー等の要望が出ており、卒業後も研修会として学べる環境を整備できたら良いと思う。海外研修も魅力的に感じる。
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3	・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。 ・来年度より、都内の総合病院での実習がさらに2か所増え、多様な臨地実習を行えるように整備している。	
	③	防災に対する体制は整備されているか	4	・海外研修については、法人の短期大学で実施しているので、本学生にも同体制がとれるか検討が望まれる。	
				【今後の改善方策】 ・引き続き新しい機器を導入し、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。 ・実習先の開拓は、今後も必要であり、法人関係の実習先を増やしていきたい。 ・ユニットの交換、昨年度実施できなかった3階のトイレの改修工事の実施の検討を進めていく。 ・法人短期大学が実施している海外研修旅行を組み入れていくカリキュラムの模索をしていく。	

(7) 学生 の 受 入 れ 募 集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	【成果と課題】 ・募集活動は適切に行われているが、入学する学生の学力の底上げが望まれる。 ・2年連続での定員充足ができていない。 【今後の改善方策】 ・指定校推薦での入学者数が思うように伸びていないので、高校への広報活動をより活発にする。 ・実績校ではない高校に対しても積極的に広報し、高校や高校生への本校認知度の向上を目指す。 ・入学試験時のセレクション方法等の検討をしていく。	・各学校充足率の厳しい中、大変な努力と推察しています。児童生徒をターゲットにした職業訓練、体験等もTDH(歯科衛生士)を知ってもらう上で大事になると感じる。 ・昨今の高校生は派手なものに惹かれる場合もあるものの、職業と直結している専門学校の場合には最も大切なのはその教育内容だと考えられるので、その充実に努めていただければと思う。
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4		
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4		
(8) 財 務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	【成果と課題】 ・歯科大学の傘下に入ったことで財務基盤が安定した。 ・2019年度のTDH償却前経常収支は黒字決済の予定。 ・2年連続しての入学定員充足と退学者防止対策により、2020年度は、在籍数220名となり減価償却引当金も多少積みそうである。 【今後の改善方策】 ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め220名の以上の在籍を保つ。	・安定していると思う。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4		

(9) 法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	【成果と課題】 ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を公開した。 ・専修学校や養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。 【今後の改善方策】 ・今まで以上にコンプライアンス体制の強化、教職員に対する法令遵守に努める。	・堅実な運営方針が伺える。 ・コンプライアンス体制の強化も引き続きお願いしたい。
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	4		
(10) 社会貢献・地域貢献	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	【成果と課題】 ・本年度もキッズイベントを開催した。参加者も拡大した。また、桜祭りも開催予定である。 ・次年度は外部の歯科関係者団体に学校施設を貸す予定があり、社会貢献にも取り組み始めている。 ・法人の講師からの呼びかけにより、学会ボランティア活動を学生に周知することができた。 【今後の改善方策】 ・もっと地域にアピールするために、引き続きキッズイベント、さくら祭りの継続をしていく。 ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。	・今の活動の発展と学生ボランティア活動の強化をして欲しいと感じる。 ・人を集めることだけでなく、国家試験全員合格等で社会貢献へつなげて欲しい。
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	3		